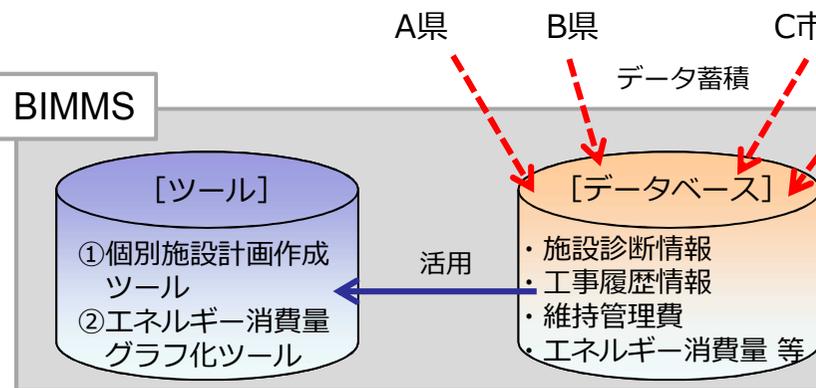


個別施設計画の策定に資するBIMMS(ビームス)

- 公共建築物（いわゆるハコモノ）の膨大な施設情報を効率的に管理するためのシステム
- 都道府県・政令市・国土交通省が共同で開発・フォローアップ
- これまでに蓄積された修繕・更新データ等から個別施設計画を容易に作成可能
- エネルギーデータを「見える化」することにより多消費施設を抽出することが可能

BIMMSの概要

公共建築物の施設情報を共通のデータベースに蓄積



- 平成17年度から本格運用し、現在97の地方公共団体で利用中（平成30年3月31日現在）
- 低廉な費用で利用可能（50棟あたり年間約8万円程度）
- （一財）建築保全センターが管理・運営



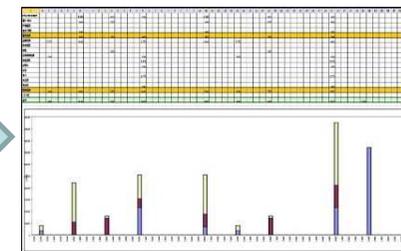
建物基本情報 入力・出力画面

活用例①：個別施設計画の作成

用途、延べ面積、竣工年月日から容易に作成可能



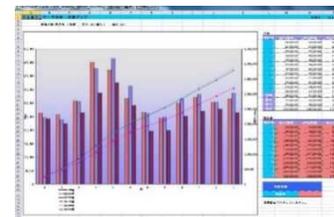
建物用途を選択



将来の修繕・更新時期を把握し、支出の平準化・効率化を実現

活用例②：エネルギーデータの「見える化」

施設の運用エネルギーを「見える化」により最適化



グラフで経年変化を確認し、漏水・故障等を早期に発見



他団体・他施設との比較により多消費施設を抽出して運用改善